

●区社会福祉協議会の主な取組

緑区社会福祉協議会では「区計画」の推進について、区役所及び地域ケアプラザと共に、全地区での地域課題の解決に向け様々な取組を行っています。平成29年度の取組の一部を紹介します。

ボランティアセンター

●「ボランティア新規登録者向けオリエンテーション」

ボランティアセンターに登録して概ね1年未満の方を対象としたオリエンテーション（ボランティア入門講座）を9月14日と11月13日に開催し、2日間で13名の参加がありました。

「登録はしたけれど、活動を始めるのはちょっと心配」「他の人はどんなボランティアをしているのか聞いてみたい」という声にお応えして、オリエンテーションの後半は交流会を企画しました。

「今後は、子どもに関わるボランティアをやってみたい」「施設のお祭りのボランティアだったら、初心者でも楽しめた」等 ボランティアコーディネーターも入って、みんなでお茶を飲みながら、アットホームな雰囲気の中で、情報交換をすることができました。



<内容>

- ・ボランティアの心構え（研修）
- ・車いす操作の体験
- ・交流会



みどり障がい児者支援ネットワーク・緑区自立支援協議会

●みどり障がい児者支援ネットワーク「活動紹介PRスライド」

みどり障がい児者支援ネットワークでは、区内の障がい福祉関係の支援機関や事業所、地域ケアプラザ、学校などが「顔の見える関係づくり」を目的に、情報交換などを行っています。今年度は参加団体の活動をもっと知ってもらおうと「活動紹介PRスライド」を作成し、12月の「ハーモニーみどりまつり」で上映を行いました。

今後もこの紹介PRスライドをわかりやすいものに作りかえていく予定です。



●緑区自立支援協議会「緑区の地域資源を学ぼう研修」

「緑区の地域資源を学ぼう研修」

広がる障がい児者の生活
～社協事業での事例を通して～

緑区社会福祉協議会 30.2.16 自立支援協議会研修

緑区自立支援協議会のメンバーである区内障害福祉関係の事業所のみなさん向けに「緑区の地域資源を学ぼう研修」を行いました。あんしんセンターと移動情報センター、2つの社協事業での事例を通して、社協がどのように障がいのある人たちの生活を支え、地域の中でネットワークを作っているかをお話しました。

また講義の後は、グループに分かれ、社協の事業について質問を受けたり、参加者のみなさんと活発な意見交換を行いました。

住民ささえあいマップ

●「住民ささえあいマップ」の取組

ご近所の見守りの仕組みづくりとして、「住民ささえあいマップ」に取り組んでいます。「マップ」づくりとは、地図上に地域情報を落とし込み、解決すべき地域の課題や実状を誰の目にも見えるようにする取組のことです。「マップ」は、住宅地図を50世帯程に区切り、そこに地域情報を書き込んだり、シールを貼るところから始まります。その情報は、ご近所に詳しい「世話焼きさん」に教えていただきます。「世話焼きさん」の情報をもとに、地域の方々の「動き」や「関わり」を「見える化」するのが、この「マップ」の特徴です。「住民ささえあいマップ」の取組は、「マップ」づくりの過程で見えてきた課題解決に向けた行動を、地域住民の力、専門機関の協力で実践することを最終目的としています。

今年度は、上の原グリーンハイツ自治会（長津田地区）、みどり台自治会（山下地区）、下長津田自治会（長津田地区）、杉山原自治会（長津田地区）、北八朔上自治会（山下地区）、北八朔自治会（山下地区）の6自治会8か所で実施しました。「マップ」づくりを通じて、地域の課題や実情を把握できたことで、課題解決に向けて、日ごろの顔見知りの関係づくりの取組（焼き芋の会、健康麻雀など）や、新しい地域活動の担い手を見つけ出す取組（食糧備蓄法（ローリングストック）講座）につながりました。今後さらに取組を進めていきます。



あんしんセンター

●あんしんセンターの取組

生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などが困難な高齢の方や障がいのある方を支援する事業です。具体的には①福祉サービス利用援助、定期訪問金銭管理サービス、②預金通帳など財産関係書類等預かりサービスを行っています。①金銭管理サービスでは、通帳をお預かりし、ご本人の代わりに銀行で出納を行い、生活費をお届けするとともに、必要な支払いを行います。②預かりサービスは、財産の紛失を防ぐため貸金庫でお預かりするサービスです。

生活費等をお届けするとともに、ご本人のお困りごとや生活状況をお聞きし、必要時にはサービスを紹介したり、関係機関と相談・協力することで本人が安心して生活できるよう支援しています。

